

## 頭部及び脊髄動静脈シャント性疾患の治療と予後に関する観察研究

### 1. 研究の対象

1998年1月1日から2026年3月31日の間で、当院にて頭部及び脊髄の動静脈シャント性疾患(動静脈奇形、動静脈瘻など)と診断を受けた全ての方を対象とします。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

脳動静脈奇形や脳動静脈瘻に代表される頭部や脊髄に生じる動静脈性シャント性疾患は希少であり、治療の方針をはじめ、症状の進行リスク因子など、まだはっきりしていないことが多いです。当院は全国的にみても頭部及び脊髄の動静脈シャント性疾患の症例が多く、治療歴、経過や検査データをまとめることで、治療と予後に関わる要因を明らかにできるものと考えております。1998年1月から2026年3月31日のあいだに当院で脳動静脈奇形と診断された方のカルテより診療情報データを抽出し、項目毎に統計解析を行い、予後に関わる因子等について検討を行います。研究のために検査を追加する等の患者さんの負担となるようなことは行いません。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

下記の如く、診療目的で採取された既存情報を使用します。

#### 1 基本情報

- a) 登録日
- b) 担当医氏名
- c) 年齢、性別
- d) 既往症

#### 2 採血データ

#### 3 検尿データ

#### 4 血圧

#### 5 生理学的検査データ

- ・ 頰動脈エコー、心エコー 等

#### 6 放射線学的データ

- ・ 頭頸部 MRI
- ・ 造影 3D-CT 画像
- ・ 脳血管撮影検査画像
- ・ SPECT 画像 等

#### 7 転帰：血管イベント発生の有無

- ・ 臨床症状の変化
- ・ 画像上の変化（頸動脈エコー、頭頸部 MRI、CT、脳血管撮影 等）
- ・

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、お申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科

〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65

052-741-2111

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科・講師・荒木芳生